

令和7年度 第3回 井伊谷小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年12月16日（金） 午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 井伊谷小学校 音楽室
- 3 出席委員 安戸 哲弘、中野 正雄、高林 幸子、田力 弘美、田力 圭治、池田 信子、鈴木 ゆかり、若松めぐみ、村松 茂樹
- 4 欠席委員 永田 琢也
- 5 学 校 芦田 康宏（校長）、黒柳 泰行（教頭）、有谷 剛仁（教務主任）
山下 いづみ（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 山下 いづみ
- 8 議長の選出 議長の選出については取り決めの通り、名簿順にて若松委員が選出された。

9 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 本校の教育課題について
①学習支援ボランティアの報告

10 会議記録

司会の黒柳教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

R7井伊谷小学校学校評価について、R6の学校評価を参考に項目を増やした評価表の見かたについて有谷担当教員より説明があった。

委員からは、以下の発言があった。

- ・評価表の色分けについて、段階の差を表す単純表記を提案する。（安戸委員）
- ・評価の数値が低いものにどんな手だてを考えているのか具体策は。（池田委員）
- ・いじめ対策として、情操教育が大切であるとする。（中野委員）
- ・キラキラカードの運用で物事に一つ一つ取り組んでほしい。（田力弘美委員）
- ・学校生活と家庭生活のバランスを取りながら見守りたい。（若松委員）
- ・児童、保護者、教師の評価の差が大きい項目について、間が縮まっていくのが望ましい。（鈴木委員）
- ・評価の低い児童を個別に把握して対応をして欲しい。（高林委員）

評価の低い項目については、レジリエンス教育で苦手なところが評価に影響していると思われる。個別に対応してフォローしていく。（有谷）

自分に自信がない、持てないと思っている児童に、自分の良さを出していこうと子ども達に投げかけ、進んで取り組んでいけるようにしたい。（芦田校長）

(2) 本校の教育課題について

①学習支援ボランティアの報告

・家庭科のボランティアの様子を見ると、子ども達が分からないところを聞きに行く人が沢山いるのは良い状況であると実感した。今後より多くの人数が参加してもらえるようになるとういと思った。(池田委員)

授業に入ってもらえて、学習の充実が図れた。今後どういう形で広げていくかが課題となる。(黒柳教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

司会から、次回会議は、令和8年2月6日(金)午後1時15分から開催する旨の報告があった。